



2021年 コロナ危機を乗り越え 暮らしを守るケアに手厚い新しい社会へ

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース



格差をただし憲法の理念を生かす
みなさんとともに希望切り拓く年へ

日本共産党荒川区議

横山 幸次

2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大への対応が、あらゆる分野で問われたました。その中で、医療崩壊の危機が迫るなど国民の命に関わる日本の医療や保健衛生などの脆弱性が浮き彫りになりました。日本のPCR検査が世界149位、一方「GOTO」に固執するなど現政権による命軽視の無為無策ぶりも異常です。しかも年末年始にかけて事業継続や暮らしの困難が大きくなる中で、持続化給付金なども打ち切り、医療逼迫下の医療機関への減収補填

もありません。やはり、自己責任押し付けの新自由主義政策を転換し、ケアに手厚い支え合う社会の実現を今こそめざすときだと思えます。また一番身近な荒川区政こそ、区民の大変さに寄り添い、大規模開発を見直し、感染拡大抑止とくらし応援最優先の姿勢を貫くときです。

新しい年、格差をただし、憲法の生存権、人権などの理念を生かす政治を国政でも区政でも実現し希望を切り拓く年にするため、みなさんと力合わせてがんばります。

発熱などで心配な方は 迷わずかかりつけ医などへ

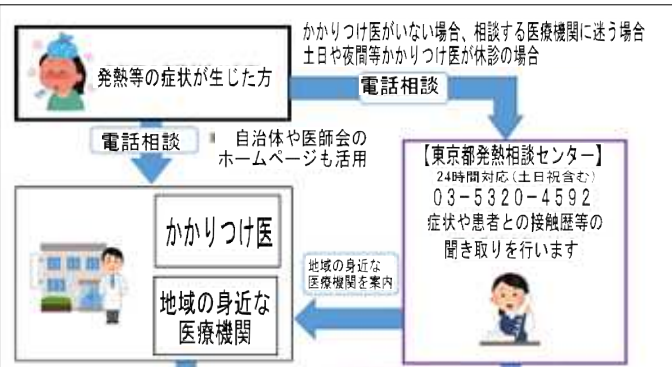
新型コロナウイルス感染症に拡大に歯止めがかからず、不安が広がっています。

かかりつけ医等の身近な医療機関で相談・受診・検査が出来る「発熱外来検査医療機関」がせつちされています。

区医師会への10月のアンケート

トでは、区内で現在53の医療機関（かかりつけ患者のみ受付が19・新規患者も受付可能が34）となっています。病院名は非公開です。

発熱など心配な方は近くの診療所やかかりつけ医、または東京都発熱相談センターにまず電話して下さい。医師が必要と認められたPCR検査は、自己負担はありません。（下図参照）



第29回区民アンケートに 引き続きご協力をお願いします

来年度予算編成に向け区民アンケートをお願いしています。また「Webアンケート」も1月31日まで実施しています。QRコードからサイトに入れます。まだの方は、ぜひご協力ください。

786

2020年12月27日
2021年1月3日合併
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメール: アドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・話題など...横山幸次区議のホームページをご覧ください。



上は、入口の看板建設中の施設正面...

- 1階 おもてなしスペース(休憩)、総合案内(コンサルジュ)、ベビーステーション、日暮里区民事務所
- 2階 創作室、管理事務所
- 3階 ホワイエ、多目的スペース
- 4階 倉庫等
- 5階 工房、創業支援施設(イデタチ東京)



日暮里繊維街は、全国的にも有名な繊維問屋の集積地であり、今でも多くの方が全国から来訪され、買い物など楽しんでおられます。また、ファッション関係者も訪れるようです。しかし以前から立ち寄り休む場所がないなど、観光面での問題が指摘されてきました。2021年1月オープン予定の地域活性化施設「ふらつと」に「ふらつと」は、休憩スペースや創作室、多目的スペース、創業支援施設を併設するなど観光と地域産業活性化にも役立つ施設として期待されています。もちろん、もともあつた日暮里区民事務所もこの施設に入ります。 横山幸次

「まちの話あれこれ」

日暮里繊維街に地域活性化施設「ふらつと」に「ふらつと」は、休憩スペースや創作室、多目的スペース、創業支援施設を併設するなど観光と地域産業活性化にも役立つ施設として期待されています。もちろん、もともあつた日暮里区民事務所もこの施設に入ります。 横山幸次

お困りごとなど電話、ファックス、メールなどでお気軽にご相談下さい。
裏面 地域のまちづくり、暮らしの情報...など

定例法律相談会

1月14日(木)
横山事務所18時~20時
正月休みのため変更

弁護士と横山区議が相談をお受けします。生活相談は、随時受付しています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

町屋地域のまちづくり

災害に強く、誰もが住み続けることができるまちへ 燃えない倒れない、バリアフリーなど基本に

私達の住む地域のまちづくりを一緒に考えたいと思います。住み続けるために何が重要か？地域の現状や区の計画など知り、住民合意を進める必要があります。そのため、地域の情報をお知らせします。他にも町屋図書館更新、電化通り拡幅、防災機能向上など多くの課題があります。ご意見をお寄せください。



町屋5、6、7丁目一帯をバリアフリーに

この地域には特養ホームなど高齢者施設、障害者施設、保育園、都営住宅があり、道路含めたバリアフリー化は緊急課題です。



現在用途	面積
尾竹橋公園	0.42ha
旧尾竹橋清掃用地	0.32ha
町屋七丁目公園	0.13ha
土地開発公社用地	0.74ha
河川区域	0.25ha
合計	1.86ha

最大の課題は密集市街地の改善...公有地取得も

大地震で甚大な被害を受けることが予測される町屋地域。道路拡幅とともに住宅の耐震化促進のため、住替え・建て替え用の公的住宅が必要です。また公園や防災機能を備えた公共施設などの整備も課題です。そのためには、公有地の確保が必要です。北村園商品センターの跡地など今後どうなるのかも注目されます。



京成線高架下整備は

京成線高架下から人々の暮らしと生業の音が消えて長く経過しています。やはりこの空間は、まちづくりの大きなマイナス...です。



町屋8丁目都住そばの空き地の行方

8丁目都住側に比較的大きな未利用公有地。荒川区は特養ホームの建替え等も課題ですが、その立替用地などで使えないでしょうか

町屋7丁目に「町屋公園」(1.86ha)ができます

荒川区全体で最も一人あたり公園面積の少ないのが町屋地域。今回、尾竹橋公園、7丁目公園とその周辺を統合して都市計画公園ができます。10年位かかるようですが、大事な一歩です。ただ公園までの道路の整備が課題です。

今週のデータ

菅政権になってコロナでの死者 安倍政権下の2倍以上のペースに...

菅首相「爆発的な感染は絶対に防ぎ、国民の命と健康を守り抜きます」(10月26日の所信表明)と表明しました。そんなおりシヨツキングな数字を目にしました。菅政権が発足してこの3カ月間で死者数1326人。これは安倍政権下の2倍以上のペース。菅政権が唱えた「勝負の3週間」(11/26~12/16)は死者数719人とこの数字です。勝負の3週間は「最悪の3週間」となりました。要因はなにか検証しなければいけません。政治の責任が最も大きいのでは？

菅政権下93日間で死者数1,326人 2倍以上の死者数
安倍政権下216日間で死者数1,467人



暮らしの情報コーナー

年末年始にかけて、事業や暮らしの困難が広がっています。
持続化給付金、家賃支援給付金などの手続きは終わっていますか？申請したがまだ給付されない、「書類不備」で送り返された...など相談が寄せられています。
 区内関係団体や日本共産党国会議員団とも連携して解決にあたっています。(現状2021年1月15日で終了となっています。再度の支給が必要です。)
緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付が2021年3月まで延長されました。
問合せ 荒川区社会福祉協議会 TEL: 03-3802-2794 (代表) **生活保護制度の利用はためらわないで...**
 厚生労働省も「生活保護の申請は国民の権利」「生活保護を必要とする可能性は度中にもあるものですので、ためらわずにご相談ください」と呼びかけています。
 福祉部生活福祉課相談係電話番号: 03-3802-3111 (内線: 2624)
他の支援制度もあります。お気軽にご相談ください。
 03-3895-0504 横山事務所まで